

つながりを大切に、地域ぐるみで防災力向上

市消防団長(4代目)

工藤民一 さん

くどう・たみいち 69歳 高宮



昭和25年生まれ。妻と子、孫の3世代6人暮らし。有限会社工藤工務所建設代表取締役、県建築士会盛岡支部八幡平市分会会長を務める。愛犬コーギーの散歩が日課で、昔より量は減ったが毎日欠かさない焼酎の水割りでの晩酌が至福の時間。

4月に市消防団は36分団を11分団に再編し、工藤民一氏を団長に新体制をスタートした。「新しい体制に慣れるまで時間がかかるかもしれないが、団員の話に耳を傾け、これまで以上に組織として連携を深めていきたい」と団長としての決意を固める。



市消防団辞令交付式で訓示する工藤団長(4月3日、市役所)

活動による地域の防災意識の向上を図る。

地域の先輩の勧めがあり、24歳で消防団に入団した。「地区内外に仲間が増えて楽しかった。今でも自分を支えてくれている」と振り返る。消防団以外にも西根ライオンズクラブに所属し、ボランティア活動にいそしむ。「人のためになることが好きだから、どちらも続けられた」と笑みを浮かべる。

日本各地で気象変化に伴う自然災害が毎年のように発生している昨今「消火活動はもとより、要救助者の検索、救助活動、給水活動、危険箇所の警戒など幅広く訓練しなければならぬ」と気を引き締める。また、いつなんどき発生するか分からない災害に備え「消防団のみならず、行政や学校、地域にあるさまざまなお互いのつながりや事業所など、日頃からつながりを大切に、地域ぐるみで防災力の向上を図りたい」と思いを抱く。

■編集後記
▽市立病院の落成式を取材。病院といえは古く薄暗いイメージを持っていましたが、市立病院は新しく、広々として明るい雰囲気でした。病院と反対側の大更駅西側を通る大更駅前線も形が見えてきました。病院もでき、変わりゆく大更駅周辺の街並み、今からその変化が楽しみです。
▽若手山山開きの取材に行ってきた。体力には自信がりましたが、カメラに苦しめられました。ザックに入れると収納容量の6割位は占めるし、出し入れは大変だし、手で持って歩くにも重いし、転んで壊さないように気を使うし…小さいお殿様を運んでいるようでした。
(吾)

【広告】

岩手県北バス
バス運転士になりませんか?
若手運転士 女性運転士 活躍中
岩手県北自動車株式会社 八幡平営業所
八幡平市大更18-88-99
TEL.019-641-7772(本社)